※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	4	年次	２～３
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）						
副教材等	最新日本史図表（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々の授業での学習ももちろん大事ですが、ジャンルを問わず歴史を題材にした映画・漫画・ゲームなどで慣れ親しむことで、より歴史に興味を持ってもらえると思います。楽しく学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を、次の通り育成することを目指す。

① 日本の通史を史実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解する。
② 歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
③ 日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本文化のあけぼのと古墳とヤマト政権	文化の始まり 農耕社会の成立 古墳文化の展開 飛鳥の朝廷	a:日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容、水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響、国家の形成と古墳文化、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して理解している。 b:中国の歴史書の記事をもとに、日本列島の倭の小国やヤマト政権（倭国）と中国・朝鮮半島の諸国との交流について、多面的・多角的に考察する。 c:打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。	定期考査 小ﾃｽﾄ	ワークシート	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)
	律令国家の形成	律令国家への道 平城京の時代 律令国家の文化 律令国家の変容	a:隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 b:律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 c:平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質について関心を持っている。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ワークシート	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)
	貴族政治の展開	摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士	a:藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 b:摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。 c:日本と東アジアとの関係において、民間の貿易や交流が中心となったことをとらえる。	定期考査 小ﾃｽﾄ	ワークシート 定期考査	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)
	院政と武士の躍進	院政の始まり 院政と平氏政権	a:貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 b:政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 c:平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報に関心を持っている。	定期考査 小ﾃｽﾄ	ワークシート	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)
後期	武家政権の成立	鎌倉幕府の成立 武士の社会 モンゴル襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	a:源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 b:奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 c:唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ワークシート	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)
	武家社会の成長	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場	a:鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 b:南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	定期考査 小ﾃｽﾄ	ワークシート 定期考査	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)
	近世の幕開け	織豊政権 桃山文化	a:村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b:織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	定期考査	ワークシート	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)
	幕藩体制の成立と展開	幕藩体制の成立 幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展 元禄文化	a:織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 b:織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ワークシート	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)
	幕藩体制の動揺	幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化	a:幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 b:国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 c:飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ワークシート	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)

※令和４年度以降入学生用

	近代国家の成立・展開・産業と生活	開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化	a:幕府の滅亡と明治維新、その後の東アジア情勢や第一次世界大戦前後の日本の立場について理解している。 b:明治政府の改革がもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)
	恐慌・第二次世界大戦と占領下の日本	恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 占領と改革 冷戦の開始と講和	a:満洲事変に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。第二次大戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 b: 満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 c:軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)
	高度成長の時代と激動する世界と日本	55 年体制 経済復興から高度経済成長へ 経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容	a: 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について理解している。日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している 55 年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 b: 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・ＬＴ貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している c:独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察 振り返りシート ノート (ﾌﾟﾘﾝﾄ)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度